

ほど遠い犬猫「殺処分ゼロ」なぜ？

ニュース



今回は犬や猫の殺処分についてだよ。「殺処分ゼロ」を掲げる自治体もあるけれど、簡単ではな

環境省によると、2018年度に全国で殺処分された犬猫は約3万8000匹、東北では約5300匹。以前と比べれば大幅に減りましたが、ゼロにはほど遠いです。

◇ 現実が見えてきたよ。



不妊去勢手術の実施などを呼び掛けようと、パネル展の準備をするアニマルクラブ石巻のメンバー

野良の子多く 養育困難

1（宮城野区）の19年度の殺処分は犬ゼロ、猫155匹。犬は野犬が少なく迷子になっても飼い主が見つかるケースが多く、12年度からゼロが続いています。猫は生後間もない野良の子が大半で、すべてを育てることが難しく殺処分せざるを得ません。



石川佳苗所長は「殺処分を減らすには、望まない命を増やさないよう不妊去勢手術を施すこと。飼い猫は完全室内飼いを、飼い主のいない猫にもただ餌をやるのではなく、不妊去勢手術をしてほしい」と訴えます。センターは新しい飼い主を募集したり、「飼えなくなった」と持ち込んでくる飼い主を説得したりして、できる限り殺処分しないようにしています。動物を飼うには責任と愛情を持ち最期まで世話をすることが求められます。

を探す努力をしています。餌代や治療費は寄付などを充てていますが、負担は小さくありません。



石巻市のアニマルクラブ石巻は現在、約100匹の犬猫を保護。うち老猫や病気の猫24匹を阿部智子代表が自宅で介護しています。「殺処分ゼロとは全ての犬猫を死ぬまで面倒見ること。100匹に毎日餌をやり治療もしているが、どれだけ大変か現実を知ってほしい」と語ります。

「命を落とすかもしれないのに、迎えてくれる家族と出会い、幸せに暮らす犬や猫もたくさんいる」と阿部さん。「自分に何ができるか、一人一人が考えてみてほしい」と問い掛けます。

行政や愛護団体任せでは解決が難しい問題なんだね。小さな命と向き合い続ける人々の言葉。みんなはどう感じたかな。

今週の注目ニュース

◇23日（金）新潟県中越地震
2004年10月23日午後5時56分、新潟県川口町（今の長岡市）を震源とするマグニチュード6.8の地震があり、同町で震度7を観測。各地で崖崩れなどが起き、68人が亡くなるなど大きな被害が出たんだ。

ページの紙面

- 2面 ギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 いいね 小学校
- 6面 絵でわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな言いたい

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ